

新 S C 経営士制度移行について

(第40回定期総会議案書抜粋)

1. S C 経営士制度見直しの背景について

S C 経営士制度は1992年に発足し、平成23年度に第20期を迎えた。その間、経済・消費状況に加え、S C 業界を取り巻く環境も激変した。それに伴い、S C 経営士合格者の職種・役職の変化、また受験の動機や受験者の年齢も大きく変わったため、S C 経営士制度委員会では平成22年度にS C 経営士制度小委員会を立ち上げ、①S C 経営士の定義、②受験資格、③免除科目制度、④試験内容などについて検討した。

新 S C 経営士制度は平成25年4月1日からスタートとする。

2. 現行の S C 経営士制度からの主な変更点

(1) 変更のポイント

- 1) S C 経営士の定義を、「S C 経営のトップ・マネジメント」から「将来性」を感じさせる語句に変更した。
- 2) S C 経営士試験の受験資格について、一次試験の門戸を開放することにした。ただし、現在の S C 経営士のレベルを維持するため、二次試験の前に資格審査を行う。

(2) 具体的な変更点

現行の S C 経営士制度は20年の歴史があるため、基本的には設立当初の精神を踏襲しつつ、S C 業界にとって将来有望な人材の育成・確保を目的に、次の4点について変更した。

1 S C 経営士の定義
① S C 経営士像を広く捉える、② シンプル、③ 将来性の3点をポイントに、新 S C 経営士定義案をまとめた。
2 受験資格
一次試験受験の門戸は開放するが、試験のレベルを維持するため、① 実務経験の年数は従来通り5年とする、② 実務の内容（職種）を拡大することとした。
3 免除科目制度
① 従来は資格保有により、最大3科目免除となったが、次の事由により通信教育以外の免除科目は廃止した。 a. 一次試験の受験資格を設けず、門戸を開放するのであれば、免除科目は多くないほうが、合否判断が明解になる b. 通信教育は協会教育制度の大きな柱である ② 従来は開発と管理の2講座とも修了している場合、1科目のみ免除となっていたが、理由が不明確なため、2講座とも優秀賞をとった場合は2科目免除とする。 ③ 通信教育修了後、5年間を S C 経営士試験免除の対象期間とする。
4 試験内容
① 一次試験の科目名の変更 わかりやすい科目名に変更した。 ② 二次試験について これまで同様、論文と面接とする。

3. 現行のSC経営士制度と新SC経営士制度の変更案との比較表

項目		現行	変更案
1) SC経営士定義		SC経営士とは、SC(ショッピングセンター)経営のトップ・マネジメントの職務を遂行または補佐することが出来る者のことをいう。ディベロッパー組織の中では統括的なマネジメントを行うマネジャー以上の職能を遂行できる者、コンサルタントではディベロッパー組織の中のトップ・マネジメントの指導ができる能力・資質を有する者のことをいう。	SC経営士とは、SC(ショッピングセンター)に関する専門知識を総合的・体系的に体得し、その専門知識を活かして、現在および将来のSC経営やSC業界、地域社会の発展に貢献できる資質を持った者で、 <u>一般社団法人日本ショッピングセンター協会が実施するSC経営士試験に合格し、登録した者</u> をいう。
2) 受験資格	受験資格	次のいずれかの条件を満たす者が受験できる。 ① <u>SCの開発・管理運営またはそのコンサルティング</u> に関し、5年以上の実務経験を有すること。 ② 上記①に準ずる実績を有すること。	一次試験の受験資格は設けないこととする(希望者はだれでも受験できるものとする)。
	実務経験	① 実務経験については、 <u>一次試験の前に受験資格について審査</u> する。 ② 実務経験は5年以上。	① 実務経験については、 <u>二次試験の前に受験資格について審査</u> する。 ② SC経営士のレベルを維持するため、年数は従来どおり5年以上とする。 ③ 実務経験が5年に満たない場合は、 <u>一次試験合格者とし、10年以内に受験の前後の実務経験を合算して通算5年以上の実務経験を経た後、資格審査を経て二次試験を受験できるものとする。</u>
	実務経験職種	<u>SCの開発・管理運営またはそのコンサルティング業。</u>	① 実務経験の <u>業種を拡大</u> する。具体的には実務経験職種は、SC事業に関連した職種とするが、SC協会の会員資格を得られる業種を、基本的に認める。 ② 資格審査において疑義が生じた場合は、SC経営士試験実行委員会において判断する。
	二次試験不合格者(受験の有効期限)	① <u>一次試験合格者(旧SC経営士補)</u> とし、受験後3年間チャレンジできる(<u>最大4回受験可能</u>)。 ② 再度受験する場合は、論文を提出する。	① <u>二次試験受験有資格者の有効期限は2年間とする(最大2回、再受験可能)</u> 。 ② 再度受験する場合は、二次試験(論文、面接)から受験する。

3) 免除科目制度	<p>免除申請により、次の①～③のいずれかに該当する者は免除資格の審査を行い、免除資格があると認められた場合、一次試験の一部が免除される。</p> <p>① <u>SC開発講座およびSC管理運営講座の修了者→SC開発実務の基本知識またはSC管理実務の基本知識のいずれか1科目</u></p> <p>② <u>中小企業診断士もしくは販売士1級資格保有者→商業一般に関する常識問題</u></p> <p>③ <u>公認会計士もしくは不動産鑑定士資格保有者→経済一般に関する常識問題</u></p> <p><u>*最大3科目免除</u></p>	<p>① <u>通信教育以外の免除科目は廃止する。</u></p> <p>② <u>通信教育修了者で優秀賞獲得者は、該当する科目について免除とする。</u>ただし旧テキストの修了者については従来どおりとする。</p> <p>③ <u>免除の有効期限は、通信教育修了後5年間とする。</u></p> <p><u>*最大2科目免除</u></p>	
4) 試験内容	科目名	<p>一次試験はマークシート方式とし、次の5科目とする。</p> <p>① <u>SC経営戦略と意思決定</u></p> <p>② <u>SC開発実務の基本知識</u></p> <p>③ <u>SC管理実務の基本知識</u></p> <p>④ <u>経済一般に関する常識問題</u></p> <p>⑤ <u>商業一般に関する常識問題</u></p>	<p>一次試験はマークシート方式とし、次の5科目とする。</p> <p>① <u>SC経営戦略</u></p> <p>② <u>SC開発</u></p> <p>③ <u>SC管理</u></p> <p>④ <u>商業一般</u></p> <p>⑤ <u>経済一般</u></p>
	二次試験（論文試験）	<p>① 二次試験は論文と面接とする。</p> <p>② <u>一次試験合格後、執筆した論文を提出する。</u></p>	<p>① 二次試験は論文と面接とする。</p> <p>② <u>資格審査通過後、執筆した論文を提出する。</u></p>
	合否判断基準	<p>SC経営士試験は一次試験・二次試験の結果を総合的にみて判断するため、公表しない。</p>	<p>SC経営士試験は一次試験・二次試験の結果を総合的にみて判断するため従来どおり公表しない。</p>

*アンダーラインは変更箇所

*通信教育の優秀賞：全科目80点以上で、平均95点以上。

■ フローチャート ■

